

Damijan Podversic ダミアン ポドヴェルシツ

ダミアンは常に進み続けてきた造り手といえる。素晴らしい出会いの度に一歩ずつ進み、一つずつ築きあげてきた。

彼の父は数 ha のブドウ畑とオステリアを持ち、栽培したブドウで造ったワインを店で売る、当時はポピュラーなワイン造り。しかしそんな「当然な」ワインに満足せず、畑仕事が好きだった父について幼いころから栽培や醸造にのめり込んでいくことになる。ダミアンにとって一つの大きな出会いでもあるオスラヴィエのヨスコ グラヴネル、きっかけはやはり父であった。1985 年、フリウリのワインに造りの「定説」に一石を投じたヨスコのもとには、多くの造り手が集まり(今では素晴らしい造り手ばかり、のちにそれぞれの価値観を持ち、離れていくことになる。当時の彼のカンティーナには溢れんばかりの熱意と信念、才能が集まっていた。)、濃密な時間を共に過ごすダミアンは、自身今までにないほど多くの事(本人曰く、技術的なことではなく、より内面的な部分で学ぶことの方が多かったという。)を学び、自身のフィロソフィを築いていくこととなる。彼が父から離れ、本格的に栽培・醸造を開始したのは、1998 年、ゴリツィアの西にある放棄された畑(Monte Calvario)の畑を手に入れたことから始まる。

約6ha のモンテカルヴァリオには樹齢 60 年を超えるリボッラジャッラをはじめ、マルヴァーギア イストウリアーナ、フリウラーノを主にピノ グリージョ、カベルネ ソーヴィニオン、メルロー栽培、祖父から受け継いだサンフロリアーノの2ha の畑にはシャルドネ、フリウラーノ、メルローを栽培。畑では年により必要最小限の銅と硫黄物を使うのみで、一切の肥料、薬品類を使用しない。さらには土壌の耕転さえも行わない。春から夏にかけての徹底した除草と摘房、果実の収量制限を行う。また、収穫に至っては樹上に極限まで残し熟成を促す、結果収穫は 10 月以降、雨が少なく条件が整った場合は 11 月に至ることも少なくない。コッリオ周辺特有の湿度の高さは、一定の条件を満たすことで、ボトリティスノービレ(貴腐)の恩恵を受けることができる。そうしてボトリティスをまとった白ブドウを収穫。畑での徹底的なこだわりと作業量の多さ(過酷さ)は、他のどんな造り手にも引けを取らないほど。

貴腐化した果実を含むため、非常に厳しい選果を行ってから除梗。縦型の開放式大樽の中にてマセレーション(果皮の浸漬)を行いつつ、ゆっくりと醗酵が始まる。日々のパンチングダウン(浮き上がった果帽を突き崩す)を繰り返し、60~90 日に及ぶ醗酵ののちに圧搾。圧搾後、大樽にて約 2 年、瓶詰め後 12 か月(2009 年以降樽内での熟成を優先するようになる)を行う。モンテカルヴァリオの持つ強烈なミネラル感、完熟した豊かな果実、そして全く失われることのない骨太な酸、ここにボトリティスの恩恵を受けた彼のワインは、豊かさと旨みはもちろんの事、他のいかなるワインとも異なる個性を持つ。

また、彼のワインには2つの表情:ヴィンテージごとに見せる顔がある。特に彼にとって印象的、というより過酷過ぎる収穫(冷夏と多雨、収穫前の雹によって約8割の収穫を失ってしまう。残った果実にも傷がつき、収穫は房ごと、ではなく粒単位での収穫を余儀なくされた年)は、彼にとっての今後を、はっきりと示すこととなる。寒い年、雨の多い年にはボトリティスの恩恵を強く受けることで、表面的な味わいというより、より奥深い、ポテンシャルを感じるワインになる。それに比べ、気候に恵まれ果実的な熟成を遂げたヴィンテージには、非常に素直さ、明るさ、親しみやすさを持ち、豊かな飲み心地を持ったワイン。こうした二つの表情、大きな変化、その背景には彼自身の成長・変化をはっきりと感じることができる。

「ヨスコから学んだものはブドウ作りや醸造方法じゃない、もっと大切なものだ。生きる上での価値観やフィロソフィ。大地、植物、すべての小動物、一体化した自然環境に最大限の敬意を払うこと。妻、そして家族を愛すること。そして自ら経験しなければ、何一つ学べないということだ。」

2012 年に起きた「ある出来事」を境に、ヨスコのところに通わなくなったダミアン。当時はちょっとしたすれ違いだったかもしれませんが。しかしヨスコを信じ切っていたダミアンが、彼の



考えとすれ違うこと自体、当時としては珍しい事だったなんて、その時は気づきもしませんでした。「それまではヨスコの言葉、行う事すべてに注目し、それが絶対的なものだと思ってきた。畑での仕事や土地との付き合い方。収穫の時期なんて毎日のように彼に電話していたさ。だけど今考えれば、自分自身で考えること、決める事を放棄していたんだ。」、彼を尊敬するあまり、自分の考えよりも、ヨスコの意見を優先していたという彼。そして彼のもとを離れ、今まで抑えこんできた自分の意志、考えを表に出すようになったのが、2012 年。多くの事をヨスコのもとで学んできたダミアン、それを自分の中で咀嚼し理解する。単なるモノマネではなく、自分自身の意志として、。言葉では簡単に思えますが、それまで 30 年近く師として、時には父親のように慕ってきたヨスコから離れることに、どれだけの決意が必要だったか、。。

その 2012 年はダミアンにとって「偉大」と言える素晴らしい収穫を迎える事になりました。樹上で果実は十分に成熟し、貴腐がたっぷりと回ったリボツラ ジャツラ。収穫を遅らせても、果実的なバランス感を失わなかった果実は、雨が多かったこともあり、貴腐の量は全体の 50~60%に及びます(一部のリボツラにおいてはほぼ 100%に貴腐が回ったと、)。醸造については今までと変わらず大樽によって、果皮・種子全てを表現した醗酵。熟成においては、今までより樽での熟成を長く取りました。ボトル詰めから今回のリリースまで 5 年という歳月を費やした、ダミアン渾身のヴィンテージとなります。

ヨスコとの出会い、別れを経験したダミアン。リボツラ 2005 という記念すべきヴィンテージのリリースを迎えた彼は、また一つ歩を進めたかのように思う。彼自身の成長はそのままワインの成長につながる、常に前へ進むことを忘れない、尊敬すべき造り手。



Damijan Podversic ダミアン

フリウリ＝ヴェネツィア ジュリアーゴリツィア

ワイン名		ヴィンテージ	種類	容量	メモ
Ribolla Gialla リボツラ ジャツラ	DOC	2020	白	750ml	リボツラジャツラ、樹齢 20~40 年。収穫を可能な限り遅らせることで、最大限に成熟した果実。果皮の成熟、徹底して選果を行い収穫。除梗して果皮・種子と共に 3 か月、圧搾後、大樽にて 36 か月、瓶内にて 18 か月の熟成。
				1500ml	2020 年は久しぶりに冷涼で雨の多い、気温差のあるヴィンテージ。貴腐の恩恵は 40%程度。果皮由来の豊かなタンニンと、ボトリティス由来の妖艶で複雑な香り、全体を引き締める骨太な酸によって、非常に立体感を感じるヴィンテージ。
Bianco “Kaplja” カプリャ	DOC	2020	白	750ml	シャルドネ、フリウラーノ、マルヴァジーア イストゥリアーナ、樹齢 30~40 年。収穫を可能な限り遅らせることで、最大限に成熟した果実。果皮の成熟、徹底して選果を行い収穫。除梗して果皮・種子と共に 3 か月、大樽で 36 か月、瓶内で 18 か月の熟成。唯一ブレンドされた白であり、ダミアンの考える黄金比。リボツラと同じく骨格を宿すシャルドネと、アロマティックさ&香りを宿すマルヴァジーアとフリウラーノ。
				1500ml	
Malvasia マルヴァジーア	DOC	2020	白	750ml	マルヴァジーア イストゥリアーナ、樹齢 40~60 年。収穫を可能な限り遅らせることで、最大限に成熟した果実。果皮の成熟、徹底して選果を行い収穫。除梗して果皮・種子と共に 3 か月、圧搾後、大樽にて 36 か月、瓶内にて 18 か月の熟成。
				1500ml	2020 年は久しぶりに冷涼で雨の多い、気温差のあるヴィンテージ。貴腐の恩恵は 40%程度。2020 は果皮の比重が多く凝縮、さらに貴腐の恩恵が重なり、ヴォリュームや果実味だけでなく、香りの複雑さ、奥行き、そして全体を支える力強い酸を感じる素晴らしい味わい。

Friulano “Nekaj” DOC フリウラーノ “ネカイ”	DOC	2019	白	750ml	<p>フリウラーノ、樹齢 30～40 年。収穫を可能な限り遅らせることで、最大限に成熟した果実。果皮の成熟、徹底して選果を行い収穫。除梗して果皮・種子と共に 3 カ月。圧搾後、大樽にて 36 か月、瓶内にて 18 か月の熟成。</p> <p>雹害によって収穫量を失ったものの、果皮や種子だけでなく果梗までの成熟を見せた 2019。全体に感じる透明感とエレガントさ、アロマやヴォリュームは見事ですが、それだけではなく繊細さ、複雑さを持った素晴らしい味わい。</p>
Pinot Grigio ピノ グリージョ	DOC	2022	淡赤	750ml	<p>ピノ グリージョ、樹齢 30～40 年。収穫を可能な限り遅らせる完熟したブドウを収穫。除梗して果皮・種子と共に約 1 か月の醗酵。圧搾後、大樽にて 18 か月、瓶内にて 6 か月の熟成。 2022 年は 5 月頃より全く雨が降らず非常に凝縮したものの、8 月以降の長雨、気温の低下により一気にブドウが成熟した特徴的なヴィンテージ。いつも以上に強く熟しているのですが、色調はそこまで濃くありません。果皮由来の甘みのあるタンニンと酸があり、非常に立体感のある味わい。</p>
Prelit プレリット	DOC	2020	赤	750ml	<p>メルロー85%、カベルネ ソーヴィニヨン樹齢 30～40 年。樹上にて限界まで成熟を待ち収穫。除梗し果皮・種子と共に 1 カ月のマセレーション。圧搾後大樽にて 36 か月、瓶内にて 12 カ月以上の熟成。</p> <p>果皮の成熟、フェノールの熟成は素晴らしく、香り高く複雑な果実味と、剛健な酸による骨格を感じます。フリウリのメルロー特有の、ザラついた干しブドウのような甘みあるタンニン。横の広がりよりも奥行き、複雑さ、冷涼な年ならではの魅力を感じます。果皮・種子まで完熟した、メルローとカベルネの持つ完熟した香りと熟れたタンニン。複雑さ、妖艶さ、そして緻密な味わいをもったプレリット。</p>
Ribolla Gialla Selezione リボッラ ジャッラ セレツィオーネ		2005	白	750ml	<p>リボッラ ジャッラ、収穫後、開放式の大樽にてマセレーション。期間は 60～90 日、圧搾後大樽にて 2 年間の熟成。ボトル詰め後 5 年間熟成の後、2012 年にリリースされた初のリゼルヴァ。</p>
				1500ml	<p>2005 年、収穫の時点ですべてのブドウにボトリティスが回ったりボッラ ジャッラ。気の遠くなるような選果を行い、7 年という歳月を費やしてリリース。遂に現地の在庫が終わりとなり、今回が最後の入荷となりました。ダミアンが現在のワイン造りに至るまでの軌跡、その始まりといえる 2005 年です！</p>
RibollaGialla Selezione”SE” リボッラ ジャッラ セレツィオーネ “スペシャル エディション”		2010	白	750ml	<p>リボッラ ジャッラ、収穫後、開放式の大樽にて約 90 日のマセレーション。、圧搾後、大樽にて 7 年、ボトル詰め後 7 年の熟成。2020 年のセレツィオーネをさらに時間を費やしてリリースされたスペシャル エディション。収穫の時点で大半のブドウにボトリティスが回ったヴィンテージ。中でも最も良い区画のリボッラのみ収穫を遅らせ、さらに成熟させたブドウを粒単位の選果を行いながら収穫。ダミアン自身が思い描く大樽での熟成、そしてボトルの中でフォルムが出来上がるまでの途方もない時間を費やした、至高のリボッラ ジャッラ。その体躯、奥行き、終わることのない余韻の長さには衝撃を覚えるほどです、。</p>
				1500ml	
Riblla Gialla DMG リボッラ ジャッラ ダブルマグナム		2017	白	3000ml	<p>リボッラジャッラ、樹齢 20～40 年。収穫を可能な限り遅らせることで、最大限に成熟した果実。果皮には多くの貴腐の恩恵を受けたブドウと腐敗果を徹底して選果を行う。除梗して果皮・種子と共に 3 カ月、圧搾後、大樽にて 36 か月、瓶内にて 18 か月の熟成。</p> <p>僅か 15 本のみリリース、うち 5 本が日本に到着しております。「この 15 本分の売上全額を世界の恵まれない人々への寄付に充てる」、という活動のため、賛同し協力してくれた画家やデザイナーの方々によって作られたエチケット。特別な3L ボトルです。</p>